

1. はじめに

広島県腫瘍登録事業は、県下の腫瘍を登録・分析してがん対策を検討するため、昭和48年（1973）4月1日から開始されました。各施設のご理解とご協力のおかげで平成27年（2015）も56,900件と多数の登録をいただき、事業開始から平成27年（2015）末までの総登録受付件数は1,272,877件に達しました。永きにわたる各施設のご理解とご協力の賜であり、本事業に尽力いただいた諸先生方に感謝申し上げます。

一方では平成25年（2013）12月にがん登録推進法が成立し、ついに平成28年（2016）1月から全国がん登録がスタートいたしました。この全国がん登録は、法制化により、全ての病院と都道府県に指定された診療所へがん登録の届出が義務化されます。居住地域にかかわらず、登録された情報は国のデータベースで一元管理され、全国のがんの罹患・死亡・予後情報ともに、登録精度の向上が期待されます。これまでがん登録に関わっていなかった医療機関の皆さまにも今後はご協力をお願いすることとなります。

広島県医師会では、今後も腫瘍登録事業を継続し、より発展させることで、県民のがん対策・がん診療に貢献したいと考えております。

この腫瘍登録では、データ集計を基に、毎年報告書を発行しており、この度、広島県腫瘍登録報告書 No.40を作成しました。内容については、最初に「グラフで見る2012年のデータ」として平成24年（2012）における腫瘍組織登録の結果をまとめました。次に、特定解析臓器では、唾液腺の解析を行いました。グラフを用いた非常にわかりやすい報告書となっております。ぜひご覧いただきますようお願い申し上げます。

また、今後も、いかに腫瘍登録事業の成果を県民に還元していくかを考えながら、前向きに推進してまいりたいと考えております。

引き続き本事業に対しまして、何卒ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年 3 月

一般社団法人広島県医師会会長
広島県腫瘍登録委員会委員長

平 松 恵 一